



今回の児童、生徒のコーナーは、白浜小のお友達の作品を紹介します。

学年は三月現在 (敬称略)



1年 さくま ひろき

ぼくのうちのどじょう

ぼくのうちでは、どじょうときんぎよとふなを飼っています。三びきともいっしょにすんでいるけど、三びきの中でどじょうが一ばんいばっています。

どじょうは、いつもおこったようなかおをしています。ぼくがいつもえさをあげるときは、口をばくばくあけます。きんぎよとふなもばくばくあけるんだけど、いつも一ばんに上がってくるのがどじょうです。そしてぼくがえさをいれると、どじょうがみんなたべてしまいます。きんぎよやふながさきにでようとすると、上にのって、

「ぼくのえさだぞ、下にさがれ。」
といっているみたいです。ぼくは、きんぎよとふながかわいそうで、ちがうほう

へえさをやるんだけど、やっぱりどじょうが上がってきたててしまいました。きょう、ぼくのどじょうはげんきがななので、びようきかな。とおもいました。でも、それならふなときんぎよがいっぱいたべられるぞ。とおもっていそいでえさをいれました。そしたら、どじょうはばくばくたべはじめました。ぼくは、しんぱいしてそんをしたな。とおもいました。



1年 いちはら ゆかり

バレーボール

きのうのよるの七じごろにそと出たら、おとうさんとおかあさんがいました。おとうさんがバレーボールをもってきて「みんなで行おうか。」
といったのでやりはじめました。

おとうさんとおかあさんのやりかたを見てみると、とてもじょうずです。わたしがパスをやると、ボールが下についてしまいます。でもりょう手をあわせてやるのは、うまくできます。おとうさんが、「じょうずだね。」

といってくれたのでとてもうれしかったです。わたしは、あたまの上でやるパスがへたなのでおとうさんがおしえてくれました。
わたしも、早くおとうさん、おかあさんみたいにじょうずになりたいです。



4年 椎名 昭子

五年生になったら

五年生になったらみんなとなかよく遊んだり、学んだり、かわいそうなことなにかあったら、助け合ったりしたいな。遊べばたのしい。

学べばべんきょうがだいたいわかる。助けることはちよつとふあんだけど、できるだけ助け合えばいいと思う。だってわたしが何かでなやんでいれば、友だちがはげましてくれることだってあったもの。



4年 伊藤 亮子

五年生になったら

五年生になったら、友だちをふやそう。友だちをいままでもたたくさんふやそう。

そして、みんなでなかよく遊ぼう。みんなで力をあわせよう。みんなといればなにもこわくない。五年生になったら、ぜったいに友だちをふやそう。

そして、遊ぶだけべんきょうをしつかりやんなきゃならないな。



露のとうまがきの土の柔かし

越川 せつ子

共稼ぎせがまれてより雑飾る

越川 雪枝

棹売りや二月の街に語尾乾く

鈴木 都根

春暁や絵心なきを惜しみけり

藤代 敏子

丹念に鍬を磨きて春耕す

土屋 好

露のとう三ツ四ツありぬべし

岩田 慶雄

焼すくも炬燵ぬくとし友の家

椎名 カツ

口紅をさして若やぐ春の旅

伊藤 幸枝

中空を染めし黄塵日の限り

伊藤 定男

注射器にわが血抜かる、二月盡

椎名しげる